

文26 渡し守に問ひ^①けれ^②ば、「こ
れ^③なむ都鳥^④」^④。」「と言ふ
を聞きて、

問一 傍線部①は過去の助動詞で、
終止形は「けり」である。こ
こでは何形になっているか。
なお、「けり」はラ変型で、
「けら—○—けり—ける—けれ
—○—」と活用する。

ア未然	イ連用	ウ終止	エ連体
才已然	カ命令		

文26 渡し守に問ひ^①けれ^③なむ都鳥^④（^②）。^②「^③ば、^④」^②と言ふ
を聞きて、

問二 傍線部②の「ば」は次の三
つの訳を持つ。この場合はどれ？

アもしくならば

※未然形＋「ば」

イゝので

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事が原因で、

「ば」の下が出来事が起こった。

ウゝするとゝゝしたところ

※已然形＋「ば」で、

「ば」の上の出来事のあと、

「ば」の下が出来事が

たまたまが起こった。

文26 渡し守に問ひ^①けれ^②ば、「こ
れ^③なむ都鳥^④」^④。」「と言ふ
を聞きて、

問四

空欄④には「だ・である」に
あたる断定の助動詞「なり」
が入るべきだが、渡し守はそ
れを省略して言わなかった。
もし、空欄④に「なり」を入
れるとしたら、次のどの活用
形で入れるべきか。

ア未然
才已然

イ連用
カ命令

ウ終止

エ連体

このページは空白ページです